

松本地域の異業種連携事業「ゆかたキャンペーン」2019

取組に至る背景・事業の目的

松本城を中心に栄える松本において、「着物」の似合うまちとして、日本の伝統美である「ゆかた」をテーマとしたイベント等を開催する「ゆかたキャンペーン」を実施した（第6回目）。老若男女がゆかたを着てまちに出かけることを啓発し、キャンペーン参加店舗は、ゆかた着用の来店者に各店舗独自のサービスを提供するほか、オープニングイベントとして、ゆかたを着用した盆踊り大会やゆかたコンテストを開催した。松本地域の異業種が連携してキャンペーン事業に取り組むとともに、地域住民や外国人を含む観光客が主体となったイベントを開催することで、まち全体として、城下町松本の風情を活かした地域振興や賑わい創出に取り組んでいく。

事業内容

- ・ゆかたキャンペーンの開催（7/15～8/16）
- ・盆踊り大会、ゆかたコンテストの開催（7/15）
- ・外国語版（英語、中国語）ポスター、チラシの作成・配布（ポスター500枚、チラシ10,000枚）
- ・参加店舗の募集（参加店舗73店舗）
- ・ゆかた着付け講習会の開催
- ・「松本ぼんぼん」でのゆかた着くずれ直しの実施
- ・ゆかたキャンペーン広報の実施（新聞掲載、ラジオ宣伝、チラシ配布）



【盆踊り大会】

事業効果

- ・外国語版チラシの作成・配布やオープニングイベントでの人力車やゆかた着用体験を実施することで、外国人観光客にも大変好評を得ることができた。
- ・事業の継続実施によりキャンペーンの認知が深まったことで、前回よりも参加店舗が増加した。また、実行委員会が直接店舗に伺い協賛の依頼をすることで、キャンペーンに対する理解や賛同が深まった。
- ・イベントにあわせて、信州の観光冊子の配布や地元グルメ（山賊焼き）の提供により、観光振興や信州まつもと空港の利用促進のPRにつながった。
- ・事業の主旨である日本の伝統美をテーマにした住民主体の観光イベントとして、ゆかたキャンペーンの認知度の向上やイベントの定着が見られる。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・実行委員会が各店舗に事業の主旨を説明することで、有料にも関わらず協賛店舗が増加した。今後も、個々店舗への説明を継続し、宣伝効果の拡大や協賛店舗の増加を図る。
- ・「ゆかた」をテーマに連携してきた地域の団体や高校等との関係を継続し、学生の参画やインバウンドに対応した企画を立案することで、滞在型の観光振興につなげていく。
- ・観光振興における駅前での賑わい創出を重視し、松本駅前から松本城に続く商店街の理解を深め、賛同者を増やすことで、松本地域の賑わい創出事業として「ゆかたキャンペーン」の定着を図る。

【選定のポイント】

城下町松本の風情を演出する特色を活かした活動であるとともに、企業参加費による自主財源の確保を図るなど、継続的な事業の実施や地域活性化につながる活動として評価できる。

団体名	ゆかたキャンペーン実行委員会（松本市）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0263-26-3850	事業費	1,983,620円
ホームページ		支援金額	1,549,000円
	http://nagano.perma.jp/event/chushinsibu_yukata/index.html		